

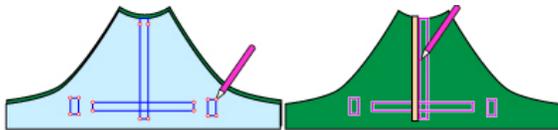
布の印のつけ方や  
接着芯の貼り方は  
縫う前の下準備で  
詳しく説明しているよ  
まだ見たことがない  
人は先に見てね!

→ 縫う前の下準備

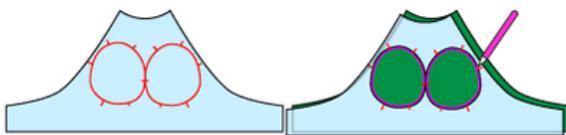
表地  表  裏

見返し  表  裏  型紙・接着芯

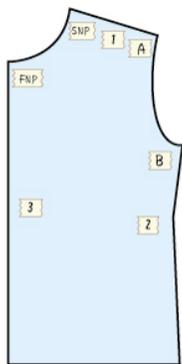
裁断した全てのパーツの端をほつれ止めをしてください。  
型紙に指定された場所の裏に接着芯を貼ってください。  
お洋服に模様や刺繍を入れたい場合はこの時点で入れておくと楽です。



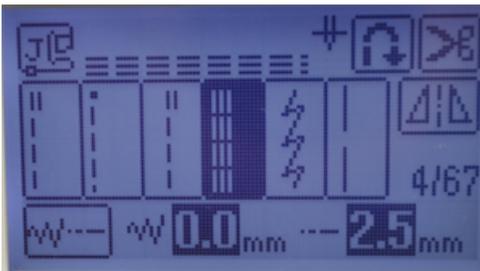
ゴム付け用見返しの型紙の待ち針マークの所に穴を開けて布の裏側に印を写してください。  
写した点を結んで線を書いてください。



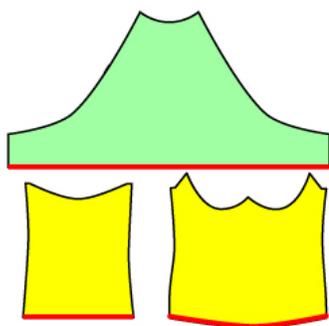
型紙の胸の丸をくりぬいてください  
生地裏に重ね、丸と印を写してください



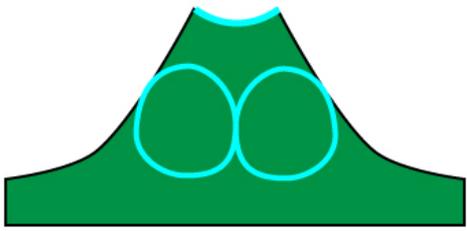
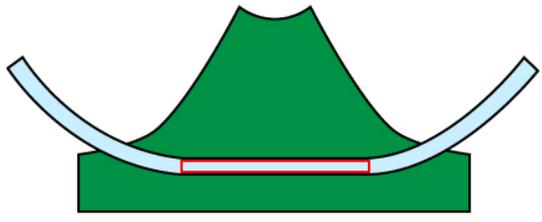
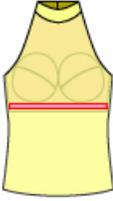
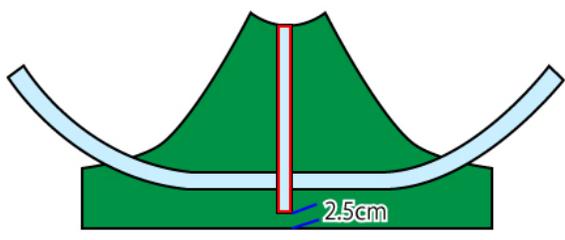
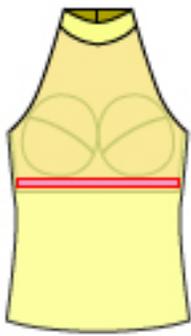
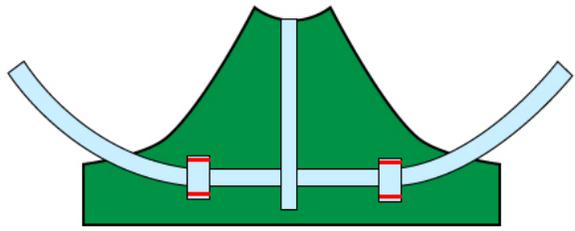
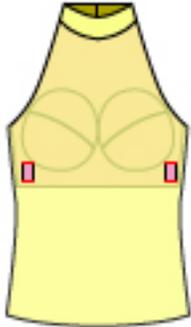
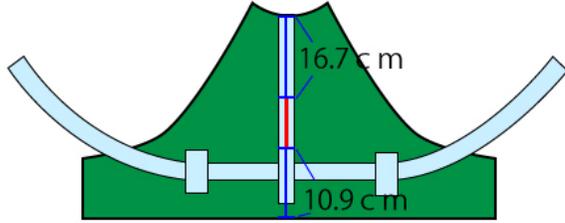
特殊な形なので形がわかりやすいように型紙の記号を書いたメンディングテープを生地に貼ると位置あわせがしやすいですよ

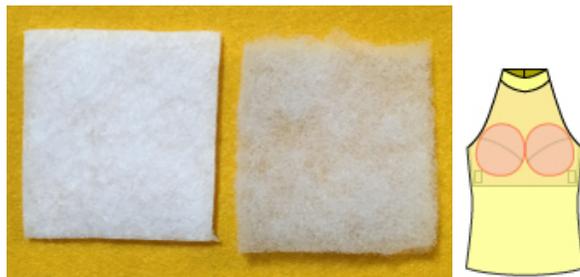


よく伸びるニットの縫い方  
普通の縫い方だと糸が切れるので [ニット用のレジロン糸](#) を購入してください  
図のような三本線の柄を選択上糸の調子を強めにして縫ってください  
これだとかなりの伸縮でも耐えます。  
お試しください。  
このデザインは伸びる生地を使用してください。

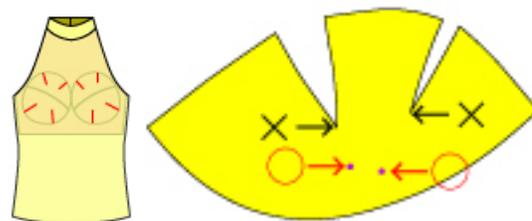


赤い部分をほつれどめしてください。

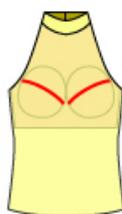
	<p>見返しの裏に伸び止めテープか1cm幅に切った接着芯を貼ってください。</p>
	<p>2.5cmの平ゴムを32cmとバスト+10cmで切ってください。 バスト+10cmに切ったほうのゴムの中心に印をつけてください</p>
	<p> バスト+10cmに切ったゴムの中心と、見返しの真ん中をあわせて印の区間を伸ばさずに縫ってください</p>
	<p> 縫い代分2.5cmあけて縦にゴムを伸ばさず縫い付けてください。</p>
	<p> ベルト芯を3cmに2本切ってください。 印にあわせて上から5mmのところを縫ってください。</p>
	<p>赤い部分にチャコペンで印をつけてください。</p>



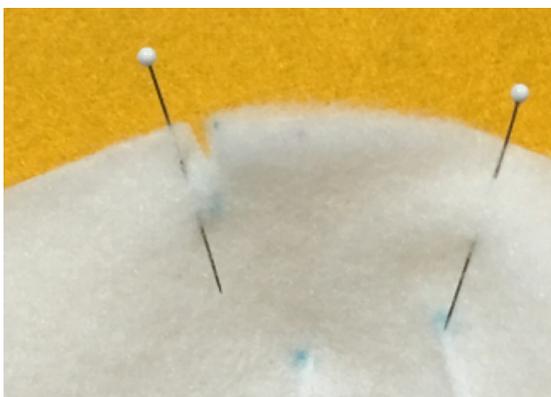
右がドミット芯左がキルト芯です  
 目が詰まった綿のシートです。  
 胸カップの型紙の上下がわからなくなった場合  
 カーブがきついほうが上側  
 カーブがなだらかでダーツ(切り込みのところ)が広いほうが下側です



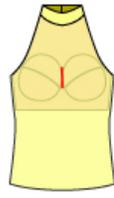
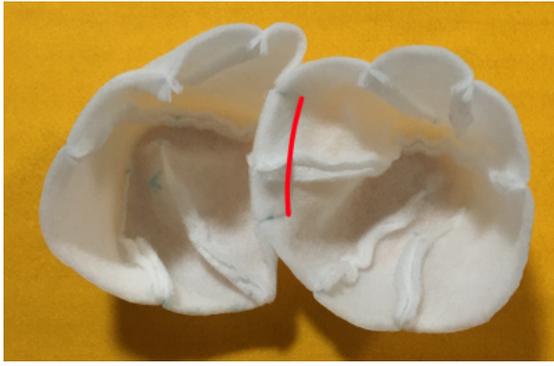
上下のカップのダーツ(立体にするためのつまみ)を縫ってください。  
 点のところまで縫ってください  
 縫い代は左右に広げてください。



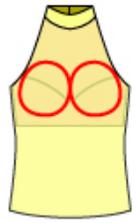
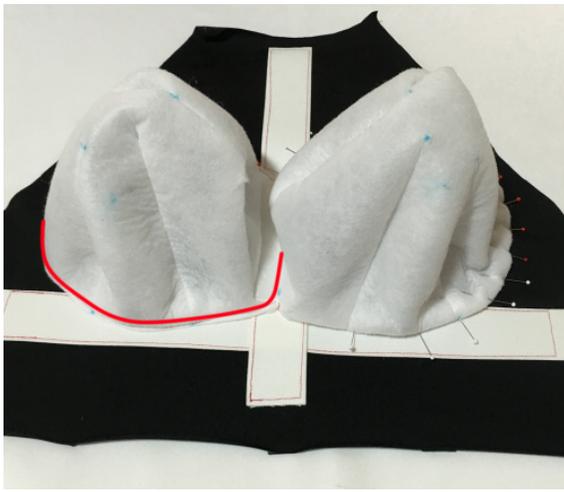
上下のカップを表同士が内側になるように重ねて1cm  
 幅で縫ってください。  
 ダーツの縫い代が出ているほうが裏です。  
 綿を入れるために真ん中を3cmほどあけてください。  
 ほつれないように縫いはじめと終わりは必ず2~3針往復してくださいね。



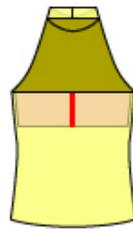
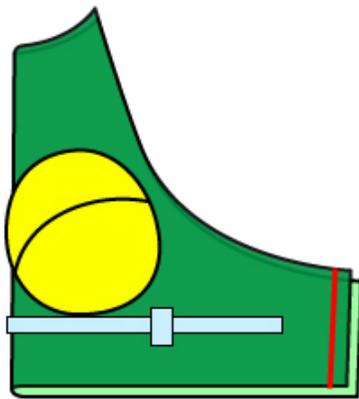
切り込みはこのように位置あわせに重要なので忘れずに入れてください  
 ね



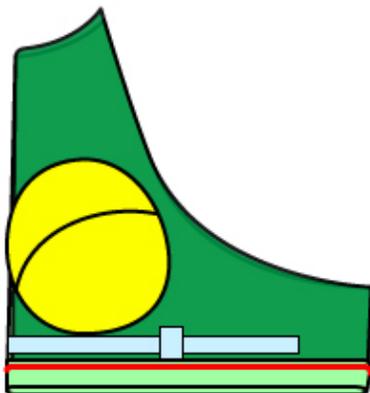
カップのあ~いの印の間を内側から1cm幅で縫ってください。



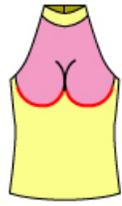
見返しの裏側にカップを重ねてください。記号をあわせてね。  
 カップの縫い代を1cm内側に入れ込んでふちから2~3mmのところを縫い付けてください。  
 ミシンが苦手な方は手縫いでもOK



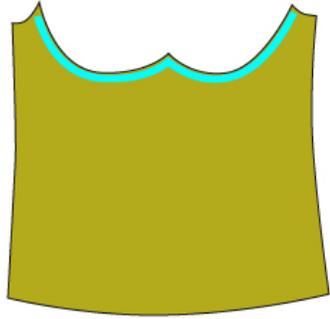
表側が内側になるように半分に折ってください。  
 端から1cmのところを縫ってください。



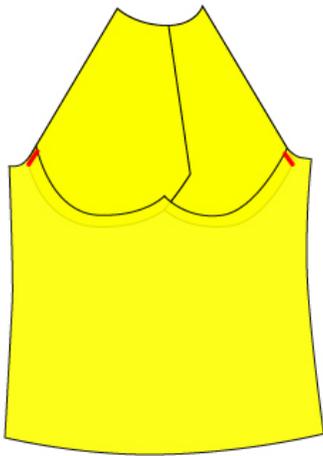
見返しのすそを2.5cm裏へ折ってください。  
 端から1cmと2cmのところを2本縫ってください



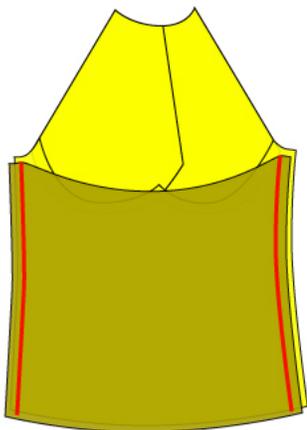
表生地 of 胸元の下側にギャザーをよせてください



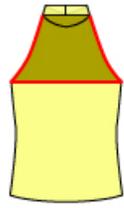
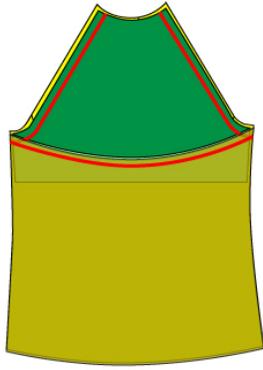
前の下側のアンダーバストの裏側の縫い代に熱接着の両面テープを貼って縫い代を1cm裏へ折ってください。



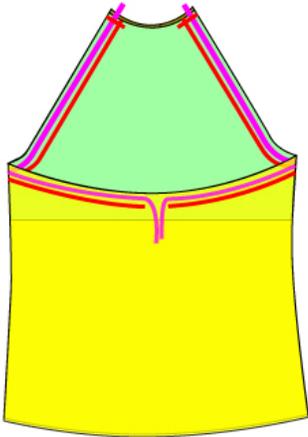
下前身頃と胸の部分を重ねて脇のところを縫ってください



前後の身頃を表同士が内側になるように重ねて縫ってください



表同士が内側になるように重ねて1cm幅で縫ってください



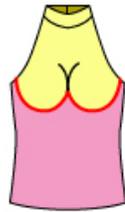
50cmくらいに5~7mmのゴムを4本切ってください。  
表替えて端から1cmのところを縫ってください。  
後ろの中心を2cmほど開けてください。  
左右2本ずつ入れてください。首のそこから2cmほどゴムが出た状態で端から5mmのところを縫って固定してください。  
後ろの中心からゴムを出してください。  
あとで試着してちょうどいい長さで結ぶか縫ってください。



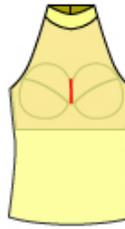
胸の部分をめくってカップの中央から綿を入れてください  
つめたらまつり縫いで閉じてください。



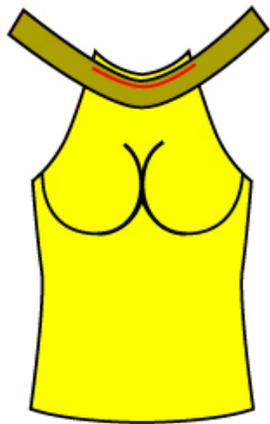
表側の下前身頃をよけてください。  
上前身頃をカップが隠れるように待ち針で固定してください。  
手縫いで見返しに縫い付けてください。  
余計なところを縫いこまないように確認しながら縫ってね



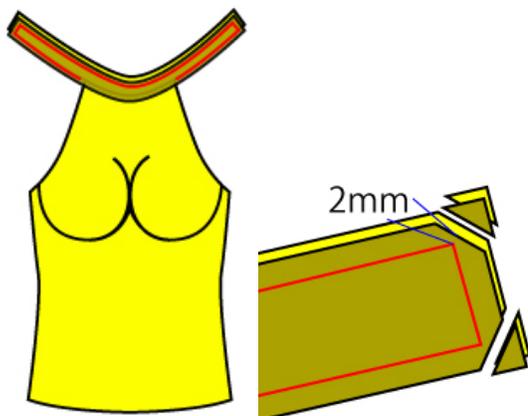
下前身頃をかぶせて手縫いで目立たないように上前身頃の縫い代を隠すように縫ってください。



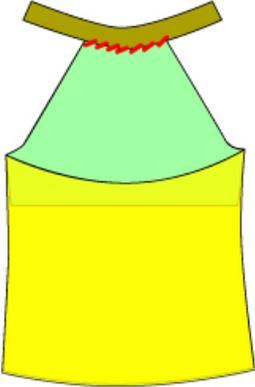
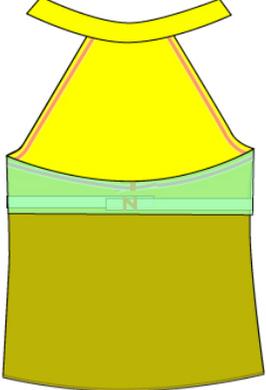
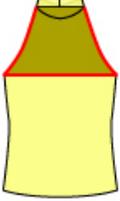
胸の中央を手縫いで寄せてください



えりの中心と前身頃の中心を合わせてください。  
表同士が内側になるように重ねて1cm幅で縫ってください。



もう一枚のえりをえりの上に表同士が内側になるように重ねてください。  
1cm幅で縫ってください。  
縫い目を切らないように角から2mm離れたところを切ってください

	<p>ひっくり返して縫い代を中に入れて縫ってください まつり縫い(手縫い)で閉じてください</p>
	 <p>スナップボタンとカギ ホックをつけてください</p>
	 <p>試着して平ゴムと2本入れたゴムの長さを調整して、縫うか結んでください</p>

いるもの

伸びる生地、ドミット芯、ニット用の糸、ニット針、スナップボタン、カギホック、2.5cmの平ゴム、5mm幅の平ゴム、ベルト芯

オススメの生地

2WAY 縦横に伸びるレオタード生地

フライス よく伸びるニット生地 ぴったり目のTシャツ、タンクトップなどに使われている生地